

# Governor's Monthly Letter

2016-2017 第2610地区活動方針「語り合おう ロータリー」

利賀村「鯉のぼり」

じいちゃん、はあちゃんの思いを乗せて…



## 青少年奉仕月間にちなんで

ロータリー章典では、「五大奉仕部門の青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである」と書かれています。その理念に沿って、第2610地区には青少年奉仕部門の中に、国際青少年交換委員会、ローターアクト委員会、インターアクト委員会があります。

国際青少年交換委員会では、今年度アメリカ、カナダ、オーストラリアへ11名の交換留学生を派遣し、アメリカ、カナダ、オーストラリアから10名の学生を受け入れています。委員会では派遣・受け入れにあたってオリエンテーションが複数回開催され、現地の文化や習慣を学び、留学生活がストレスなく送れるよう配慮しております。

ローターアクト委員会は提唱クラブ・会員数とも大幅に減少しております。2000年当時は、16クラブ・241名で構成されていましたが、現在は6クラブ77名にとどまり、さらにその内、半数のクラブは10名以下となっております。ロータリーでは環境の変化に対応すべく、柔軟性や自主性を活かした新たなクラブ運営に取り組んでいますが、ローターアクトにおいても提唱クラブと一緒に強靱な打開策を講じなければならないと思います。

インターアクト委員会では、地元の高等学校と連携し、石川県13校・富山県6校において、地域に根差した活発な奉仕活動が行われております。また3月には5日間にわたる台湾海外研修旅行が実施されました。参加した12名の高校生は、現地の学生たちとの交流を通して、異文化に触れ国際交流の大切さを学び、一回りも二回りも大きくなって帰ってきました。

また青少年を対象とする奉仕事業には、米山記念奨学会事業があります。今年度は東南アジアを中心とした18名の留学生に奨学金を支給しています。委員会では石川、富山の指定された大学からの推薦をもとに、事前の書類審査と2日間にわたる面接試験を実施し、奨学生を選考します。選ばれた奨学生には、それぞれ世話クラブや専任カウンセラーを配置し、カウンセラー研修会や奨学生の国内研修会を開催するなど熱心な活動が展開されています。また米山の活動に理解を深めていただくため、奨学生を各クラブの卓話に参加させて戴いております。さらに、卒業後は米山学友会が立ち上がり、日本との懸け橋となるべく活動を継続しており心強く感じています。皆様にはより一層のご寄付をお願いいたします。

公式訪問させていただいた折、各クラブの活動計画や実践記録と成果を詳しく報告を頂きました。それぞれのクラブで特色ある社会奉仕活動や青少年奉仕活動が実践されており大変心強く感じてはおりますが、青少年奉仕活動に関しては克服すべき課題も散見されます。現状に満足することなく、さらに活動が活性化するようご尽力いただくようお願い申し上げます。

ガバナー 岡部一輝

2017.5  
vol. 11

Rotary International District 2610



人類に  
奉仕する  
ロータリー